鉱石搬出専用索道

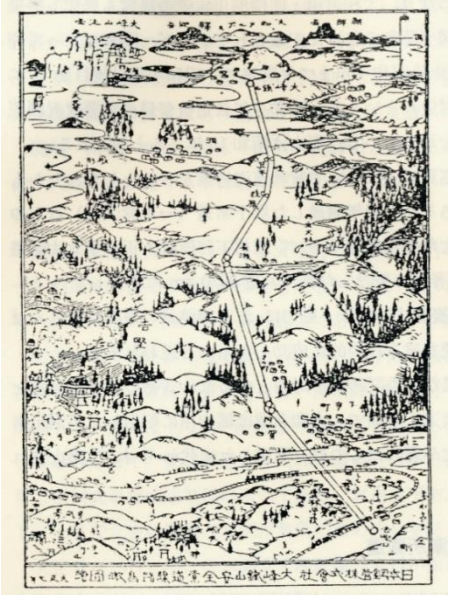
大峯索道

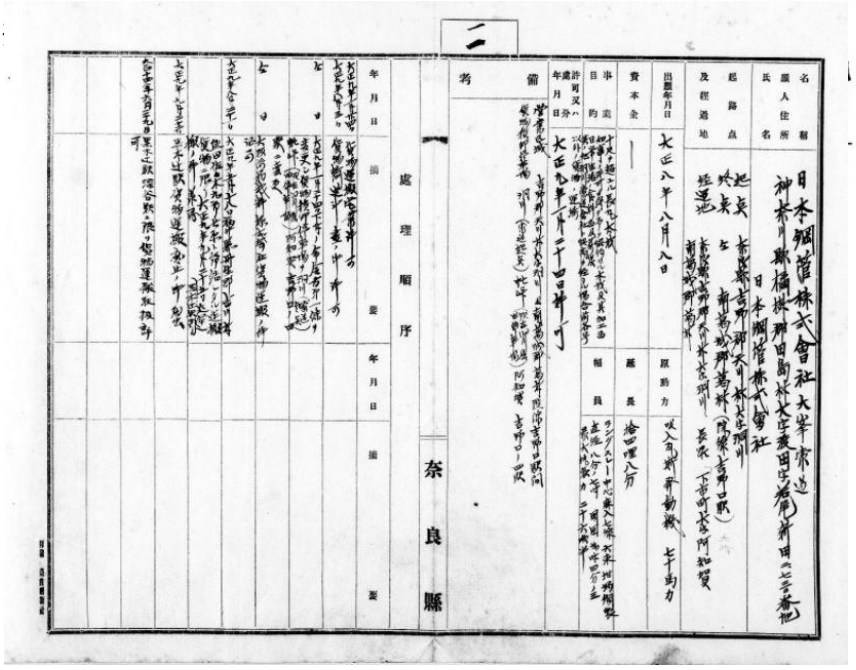
（日本鋼管株式会社）

天川村中越の観音峯山～南葛古瀬（国鉄吉野口駅付近）
4 停留所（洞川索道起点、蛇峠、阿智賀、吉野口）（23.6km）
大正 9 年 1 月 24 日認可　　鉱石搬出

観音峯山－洞川口－笠木－桂原－長瀬－広橋－岩森－阿智賀－南葛古瀬（吉野口駅付近）
下市町東側を通過し吉野口駅に通じた。大正 6 年（1917）開設、架設：安全索道商会
安索式（ロー式）単線自動循環式索道。線路長 23.63km、3 区間、4 停留所、支柱数 133 基。
大正 7 年（1918）7 月運転開始。大正 7 年 12 月　日本鋼管（株）は大峰鉱業所を開設。
大正 9 年黒木辻駅から木材搬出、大正 14 年天川村深谷駅追加搬出許可。
日本鋼管が大峯鉱山から磁鉄鉱を運搬専用索道。鉱石運搬専用索道は大正 10 年までの 3 年で、その後貨物用索道に転換し材木や日常品を運んだ。
（洞川電気索道と競合したはずだが扱う荷物を協議し共存した。）　昭和 5 年運転休止。

大峯鐵山安全索道線路鳥観図
「日本近代の架空索道」より





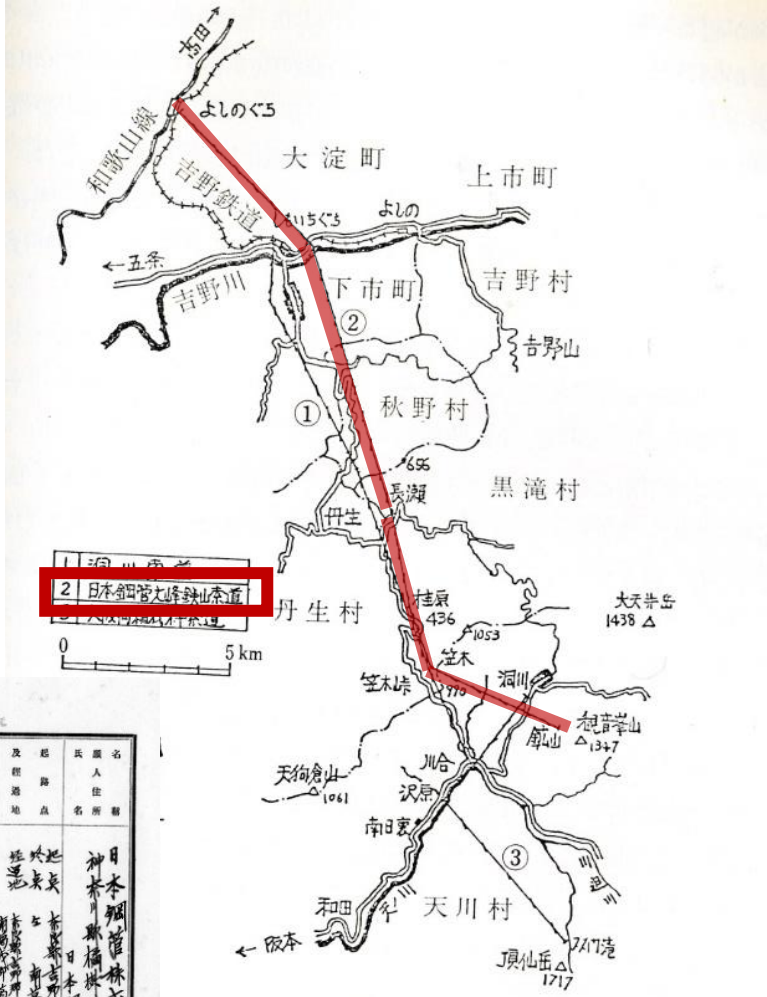


図 4·9

天川村からの索道の路線図
（赤線は大峯索道）
「日本近代の架空索道」より